

IV-464

金沢都市圏P&Bシステム試行実験の評価

金沢大学工学部 木 俣 昇
 金沢大学工学部 高 山 純 一
 石川県都市計画課 小 林 一 朗
 金沢市交通対策課 坂 井 祐 一
 計画情報研究所 ○ 山 口 哲 央

1. は じ め に

金沢都市圏では、通勤時の交通緩和施策として平成4年度に試行実験を開始し、平成5年度では、平成4年度の試行実験結果をふまえて、システム運営の改善を図り、利用者数の増大、利用率の向上、および道路混雑の緩和効果の明確化を図った。

そこで、本研究では平成5年度に実施されたP&Bシステムの試行実験結果をもとに金沢都市圏におけるP&Bシステム評価を行うとともに、本格実施に向けた課題について報告する。

2. 試行実験の概要

2-1 システム運営の改善

システム駐車場を1系統から3系統に分散配置するとともに（図-1）、システム専用バスの終バス運行時刻を22時から23時延長を行うなど（表-1）、モニターの利便性の向上にも努めた。

表-1 試行実施システム運営計画

試行実施期間	平成5年10月25日（月）～10月27日（水）（平日3日間）
モニター対象者	都心部に自動車通勤する郊外居住者
駐車場	〔既設〕市営球場（太平寺）（330台） 〔新設〕久安運動広場（360台） 市営陸上競技場（100台） 市総合体育館（180台） 計970台
システムバス運行	運行 1:30～8:45（1～10分間隔） 時間 夜 17:30～23:00（15～20分間隔）
運行経路	太平寺 → 久安運動広場 → 市総合体育館 市営陸上競技場 片 町 番 林 坊 南 町 武蔵ヶ丘 金沢駅
バス1180→	横 川 → 有 松 → 番 林 坊 → 武 蔵 → 金 沢 駅 上 有 松
バス1180→	野 町 バス 停、東 1 丁 目 バス 停

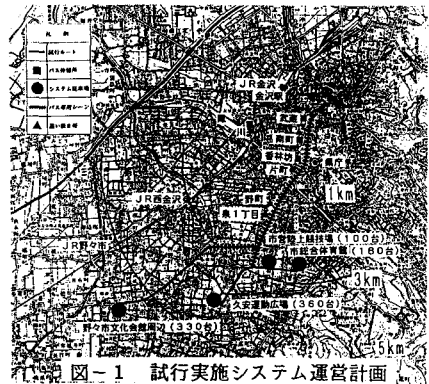


図-1 試行実施システム運営計画

2-2 モニター募集体制の強化

モニター数の増大を図るため、着地（事業所）と発地（居住地）の両方からモニター募集のアンケート調査の配布を実施した。

着地では、民間企業の組織化をすすめるとともに、都心部事業所の従業員数が46%を占める20人未満の事業所も対象とした。また、発地では、周辺自治体、市民団体等の協力のもと、約5.6万世帯の中から配布を行った。

さらに、これらを補完するために、マスコミ等を活用した広報活動を展開し、一般公募も進めた（図-2）。

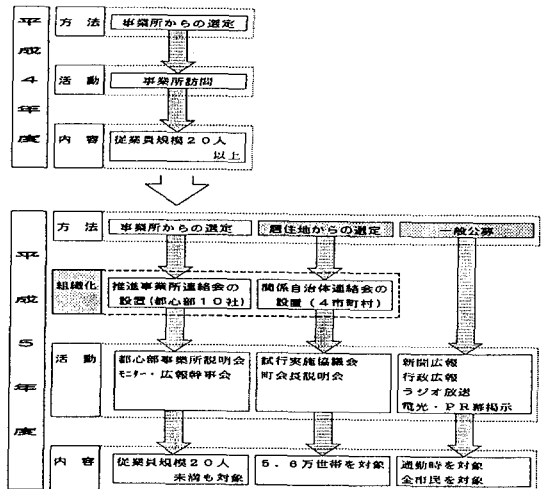


図-2 組織化・モニター募集活動の展開

3. 試行結果

3-1 利用状況

南部方面における1日あたりの平均利用者は、624人と平成4年度に比べ、約2.5倍に増加した。また、参加率は、62%（平均4年度52%）と比べ10ポイント増加した（図-3）。

3-2 交通状況

交通量の変化は見られなかったものの、渋滞長は8時ごろから効果が現われ、8時30分からは約400m削減された。また、マイカーの所要時間は、有松～広小路間約1.6kmで4～12分、平均32%の短縮となった（図-4）。

さらに、P&BRシステムのモニターも普段に比べ、松任南部、野々市南部方面（加賀産業道路沿線）のトータルの通勤所要時間において短縮が図られた。

3-3 利用評価

バスモニターの利用意向は平成4年度の67%から75%へと増加しており（図-5）、特に都心から7～15kmに居住する人の利用意向がより高い評価となった。試行実験時もマイカー通勤をしていた方のP&BRシステムを利用しない理由は、仕事で利用するため、帰宅時間が制約されるため等の理由が多かった。

システムの運営条件に対する評価としては、終バス時刻の延長（23時）により、80%が満足、また、夜のシステム専用バスの運行間隔については、25%が不満、朝の運行時間帯については、30%のモニターがより早い時間帯の運行を希望している（図-6）。

今後のシステムへの要望としては、低料金化、所要時間の短縮が最も多かった（図-7）。また、システム駐車場は、現位置付近を75～80%、さらに郊外を10～22%が希望している。

4. まとめ

試行実験により、P&BRシステムの利用意向は高まってきており、利用需要があることが試行実験により判明してきた。今後、本格実施に向けては、試行実験の基礎データの詳細分析をさらにすすめるとともに、システム駐車場の確保、システム費用負担のあり方の検討、また、市民、民間企業等との連携、啓蒙を図っていくことが大切である。

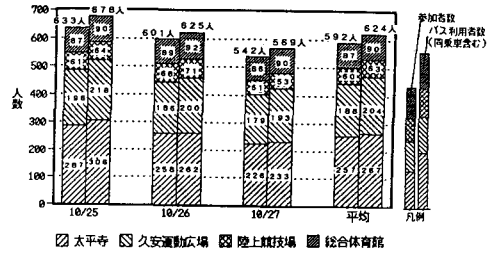


図-3 バスモニター利用状況

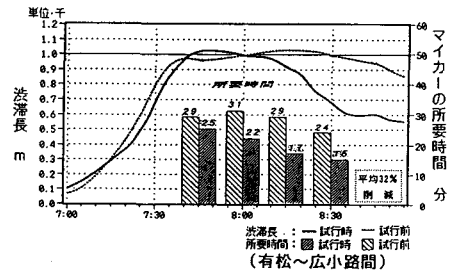


図-4 交通状況

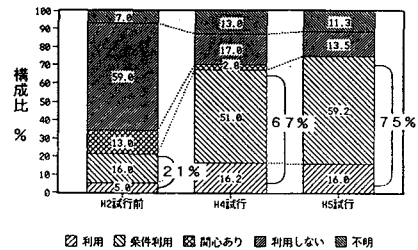


図-5 バスモニター利用意向

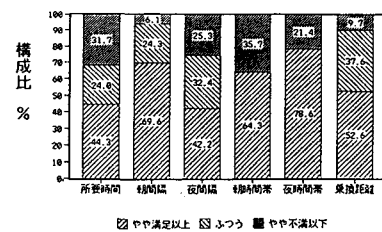


図-6 項目別満足度

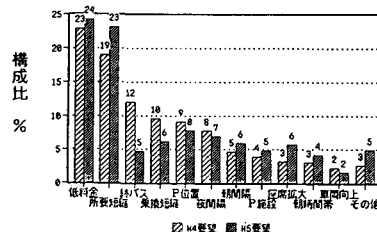


図-7 システムへの要望比較